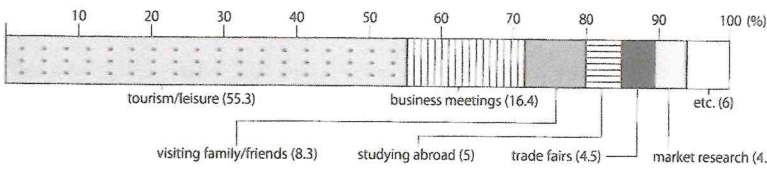




Visitors to Japan by Purpose of Visit



1 Research Japan conducted a foreign visitor spending trend survey in 2010. This questionnaire surveyed visitors leaving Japan as to the purpose of their visit. Of the total, tourism/leisure visitors made up the overwhelming majority of more than half of all visitors (55.3%), with business next, followed by visiting family/friends.

2 However, examining the information by country, the proportions of the purpose of the visit were often quite different. The percentage of Asians in Japan for tourism was high. This was particularly true for Hong Kong visitors, 81.7% of whom came to sightsee. After Hong Kong came China at 58.8%, and then South Korea, at 57.6%.

3 Conversely, the percentage of tourism/leisure visitors among Americans and Europeans tended to be rather low with the U.S. as low as 28.4%, Germany at 31.9% and the U.K. at 33.8%. Also, among Asian travelers, India and Thailand proved the exception to the rule, as most were in the country on business, not tourism/leisure. Combining all work-related categories, "business meetings," "33," and "market research," the total was about a quarter of all visitors, but visits for business purposes ranked about 62% among Indians and about 52% for Thais.

4 The circumstances in various countries and regions tend to influence the people's main purposes - tourism or business - for coming to Japan. The reasons most people from Asian countries visit Japan for tourism are likely economic factors and the influence of promotional campaigns. The trend among other Asians to vacation in Japan most likely reflects recent economic development in countries like China, giving the average person more personal spending money. The positive effects of aggressive "Visit Japan" advertising campaigns throughout Southeast Asia have also contributed to the increase in tourists.

グラフの要素を確定する

問1: 33 に最も適当なのはどれか。

【グラフ】

- ・仕事関連に当てはまる項目を確認する。
- ・「商談」、「33」、「市場調査」の合計=約4分の1。

【文章】13～14行目

- ・文章内容とグラフとを見比べて確認する。
- ・「すべての仕事関連のカテゴリーを合わせると、その合計は全訪問者の約4分の1」
- ▶ よって、33 は ①。

選択肢の正誤を早くスキャンする

問2: どの記述が正しいか。

【文章】9～11行目

- ・「観光/レジャーでは、ドイツが31.9%、英国が33.8%と、やや低い傾向にあった」

これが言い換え

- ▶ ① ドイツと英国は観光/レジャーの割合がほぼ同じである。

筆者の意図を文章から推測する

問3: 日本への旅行者の訪問目的について何が言えるか。

【文章】19～20行目

- ・「日本で休暇をとるという他のアジア人の傾向は、中国のような国々における最近の経済発展を最も反映しているようだ」

これが言い換え

- ▶ ② アジア諸国の経済発展がアジア人観光客の増加の原因だ。

続く話題を予測する

問4: 最終段落に続く話題は何か。

【文章】16～17行目

- ・「さまざまな国や地域の状況が、来日目的である観光やビジネスに影響を与えやすい」
- ▶ ③ 諸外国から数多くの人がビジネス目的で来日する理由。

1 リサーチ・ジャパンは、2010年の訪日外国人の消費動向調査を実施した。このアンケートでは日本を出国する訪問者に対し、訪問の目的についての調査がされた。全体のうち、観光/レジャー（目的）の訪問者が全体の半分以上（55.3%）という圧倒的多数を構成し、次にビジネス、さらに家族/友人の訪問が続いた。

2 しかしながら、国別に情報を調査すると、訪問目的の割合は多くの場合かなり違っていた。観光で日本にいるアジア人の割合は高かった。これはとくに香港の訪問者について当てはまることで、81.7%が観光のために来ていた。香港に次いで中国が58.8%、次に韓国が57.6%となっていた。

3 反対に、アメリカ人とヨーロッパ人の観光/レジャー目的の訪問者の割合は、米国が28.4%、ドイツが31.9%、英国が33.8%とやや低い傾向にあった。また、アジア人旅行者のうち、

インドとタイは、大部分が観光/レジャーではなくビジネスで（日本の）国内におり、規則性には例外があることを証明した。「商談」「見本市」「市場調査」というすべての仕事関連のカテゴリーを合わせると、その合計は全訪日者の約4分の1だったが、ビジネス目的での訪問は、インドの間では約62%、タイの間では約52%を占めた。

4 さまざまな国や地域の状況は、観光やビジネスといった人々が来日する主な目的に影響を与えやすい。アジア各国からの大多数の人が観光で日本を訪れる理由は、経済的要因と宣伝活動の影響のようだ。日本で休暇をとるというアジア人の傾向は、中国のような国々における最近の経済発展を最も反映しているように、平均的な人の個人支出を増やす要因となっている。東南アジア全体における積極的な「日本を訪問しよう」という宣伝活動の好影響も、観光客の増加に寄与している。

Which of the following is most appropriate for 33?

- ① studying abroad
- ② tourism/leisure
- ③ trade fairs
- ④ visiting family/friends

訳 33 に最も適当なのは、次のどれか。

- ① 留学
- ② 観光/レジャー
- ③ 見本市
- ④ 家族/友人の訪問

▶ 33 には「商談」「市場調査」以外の仕事関連のカテゴリーが入る。

#### 選択肢の研究

▶ ①②④ いずれも、仕事関係ではない。  
 ▶ ③「見本市」と訳しているが、trade「貿易」という語を含むので仕事関係と判断できる。3つの仕事関連項目の割合を加えて検算すると、「商談(16.4%)」+「市場調査(4.5%)」+「見本市(4.5%)」=25.4%となり、about a quarter「約4分の1」の条件も満たす。これが正解。

Which of the following statements is true? 34

- ① Germany and the U.K. have close to the same percentages for tourism/leisure.
- ② Hong Kong's tourism/leisure percentage is about the same as the overall average.
- ③ Most visitors from Asia come for business rather than for tourism/leisure.
- ④ Tourists make up the majority of the U.S. visitors.

訳 次のうちのどの記述が正しいか。34

- ① ドイツと英国は観光/レジャーの割合がほぼ同じである。
- ② 香港の観光/レジャーの割合は全体の平均に近い。
- ③ アジアからの大部分の訪日者は観光/レジャーよりもむしろビジネスのために来ている。
- ④ 米国の訪日者の大部分は観光客である。

▶ 選択肢と各国の旅行者についての情報を素早く検索し、正誤を判断する。

#### 選択肢の研究

▶ ① 英国が33.8%、ドイツが31.9%で、ほぼ観光/レジャーの率が同じと言える。よってこれが正解。  
 ▶ ②「全体的な観光/レジャー目的の訪問者(=平均)」は4行目にある55.3%。7～8行目の「観光で日本にいるアジア人の割合は高く、とくに香港(から)の訪問者は81.7%が観光のためだった」とあり、これは平均よりも明らかに高い。したがって不正解。  
 ▶ ③6～7行目の「観光で日本にいるアジア人の割合は高い」に一致せず、また、11～12行目の「インド人とタイ人はアジア人の例外としてビジネス目的が多い」とある。これは、逆を言えば、一般的アジア人はビジネス目的ではないということである。不正解。  
 ▶ ④9～10行目に、「アメリカ人とヨーロッパ人の観光/レジャー訪問者の割合はかなり低く、米国が28.4%」とある。よって「大部分が観光客」という内容は不適。

According to the writer, what can be said about the purpose of visit of travelers to Japan? 35

- ① Asian visitor increases are due to many new tourist attractions in Japan.
- ② Economic growth in Asian countries is what accounts for the increase in Asian tourists.
- ③ Maintaining relations with Europe and North America is essential for business.
- ④ The increase in the percentage of tourists from India and Thailand is important for Japan.

訳 筆者によると、日本への旅行者の訪問目的について何が言えるか。35

- ① アジア人の訪問者の増加は、日本のたくさんの新しい観光名所のおかげである。
- ② アジア諸国の経済成長がアジア人観光客の増加の原因だ。
- ③ ヨーロッパや北米との関係維持は、ビジネスに不可欠だ。
- ④ インドとタイからの観光客の割合の増加は、日本にとって大切だ。

#### 選択肢の研究

▶ ①「新しい観光名所」は本文に言及がない。  
 ▶ ②19～20行目の「中国のような国々における最近の経済発展を最も反映して…」という記述に一致。正解。  
 ▶ ③第3段落冒頭に「北米やヨーロッパからの観光客の割合が少ない」との記述はあるが、「関係維持やビジネスの重要性」に関する記述はない。  
 ▶ ④14～15行目に「インドからは約62%、タイからは52%がビジネス目的で訪日している」との記述はあるが、観光客を増加させる必要性についての記述はない。

What topic might follow the last paragraph? 36

- ① The influence that each country has on domestic business.
- ② The lengths of stay for people coming to Japan from other countries.
- ③ The reasons so many people from other countries are coming to Japan for business.
- ④ The relationship between economic development and numbers of people coming to Japan.

訳 何の話題が最終段落に続く可能性があるか。36

- ① 各国が国内のビジネスに及ぼす影響力。
- ② 諸外国から日本に来ている人々の滞在期間。
- ③ 諸外国から数多くの人々がビジネス目的で来日する理由。
- ④ 経済発展と来日者数の関係。

▶ 英文全体は「訪日の目的」に関する話題で、第4段落第1文は「国や地域の状況が、訪日目的の『観光』『ビジネス』に影響を与えやすい」とある。第2文以降で『観光』目的の理由があるので、『ビジネス』目的の理由である③が続けば自然な流れになる。

#### 選択肢の研究

▶ ①②④は「訪日の目的」に直接関係するものでなく、続く内容として③よりも自然とは言えない。  
 ▶ ③第4段落第1文の「ビジネス目的」に関連し、続く内容としては最も自然。よって、これが正解。

語句・表現

1.0 purpose 「目的」	1.5 proportion 「比率、割合」	1.21 aggressive 「積極的な」
1.0 tourism 「観光」	1.7 particularly 「とくに」	1.22 advertising campaign 「宣伝活動」
1.0 leisure 「レジャー」	1.9 conversely 「逆に、反対に」	1.22 contribute to ~ 「～に貢献する、寄与する」
1.0 business meeting 「商談」	1.11 proved the exception to the rule 「規則には例外があることを証明した」	問1 appropriate 「適している」
1.0 studying abroad 「留学」	1.13 combine 「～を組み合わせる」	問2 statement 「記述」
1.0 trade fair 「見本市」	1.13 work-related 「仕事関連の」	問2② overall 「全体的な」
1.0 market research 「市場調査」	1.14 a quarter of ~ 「～の4分の1」	問2③ A rather than B 「BよりむしろA」
1.1 conduct 「～を行う、実施する」	1.15 rank 「地位を占める、～を位置づける」	問3 according to ~ 「～によると」
1.1 trend 「傾向、動向」	1.16 region 「地域」	問3① due to ~ 「～のおかげである」
1.1 survey 「調査、世論調査」	1.19 promotional campaign 「宣伝活動」	問3② tourist attraction 「観光名所」
1.2 questionnaire 「アンケート、質問表」	1.20 most likely 「たいがい、最もありそうな」	問3③ account for ~ 「～を説明する」
1.2 as to ~ 「～に関して」	1.20 reflect 「反映する」	問3④ essential 「不可欠な」
1.3 make up ~ 「～を構成する」	1.21 positive effect 「プラス効果」	問4① domestic 「国内の、家庭内の」
1.3 overwhelming 「圧倒的な、絶大な」		問4② length 「長さ、期間」
1.3 majority 「大多数、大部分」		

【別冊】復習ナビブック問題 解答

★ 解答の後のカッコは英文素材の出典箇所、⇒は文法項目のナビブック参照ページを示しています。

1

1. ② (第2問C問1-Clerkの発言第2文) ⇒p.36 4
2. ④ (第2問C問3-Annの発言第3文) ⇒p.30 1
3. ① (第3問B-Jamalの1回目の発言第2、4文)
4. ④ (第3問B-Jamalの1回目の発言第6文) ⇒p.36 3
5. ① (第4問A-第2段落第3文) ⇒p.34 4
6. ④ (第3問B-Annaの1回目の発言第3文)
7. ③ (第3問B-Moderatorの1回目の発言第3文)

2

1. (Experiments have) shown that if you bother a crow (it can warn other crows about you.) (第3問A-問3第7文)
2. (Doctors recommend that) everyone eat a good sized breakfast shortly (after waking up.) (第3問A-問1第4文) ⇒p.20 7
3. (Pollution from automobiles) has also been shown to have negative effect on health(.) (第3問A-問2第4文) ⇒p.28 1

3

① (英文の訳は第3問A-問2参照)

【選択肢訳】

- ② 「しかし、働く時間がより短ければ幸せになるとは限らない」
- ③ 「歩く代わりにバスを利用できるのはとても便利だ」
- ④ 「通勤が、夫婦が離婚する唯一の理由ではないだろう」

4

① (英文の訳は第4問A-第3段落参照)

【選択肢訳】

- ① 「アメリカからの観光/レジャー目的の訪問者の割合は、ドイツや英国のものよりも低い」
- ② 「観光/レジャーで日本を訪れる英国人はドイツ人よりも少ない」
- ③ 「インドとタイの人々の大部分はレジャーで日本を訪れる」
- ④ 「仕事に関連するカテゴリーは『レジャー』『商談』『見本市』に分類される」

問1 素早い情報検索と正誤判断

According to the advertisement, [37].

① paying for five lessons gets a 5% discount  
 ② some instructors speak foreign languages  
 ③ the charge for concerts is ¥3,000  
 ④ voice students can get 10 lessons for ¥30,000

【訳】 広告によれば、[37].

① 5回分のレッスンを払うと5%割引になる  
 ② 外国語を話すインストラクターもいる  
 ③ コンサートの料金は3,000円である  
 ④ 発声の生徒は10回のレッスンが3万円で受けられる

選択肢の研究

- ▶ ① L.17「5%割引になるのは正式な身分証明書を持っている生徒と65歳以上の高齢者」なので、不一致。
- ▶ ② L.3～4「日本語、英語、フランス語、ドイツ語、中国語を話すインストラクターがいる」とあるので、一致。
- ▶ ③ コンサートの料金についての言及はないので、不適用。
- ▶ ④ L.13「発声は1回4,000円」、10回で4万円。L.17～18「前金の10%割引」でも3万6千円。不一致。

問2 条件による情報の絞り込み

The rules state that all SAM students must [38].

① have access to the Internet to study at home  
 ② pay an initial amount to become a member  
 ③ show a recognized form of personal identification  
 ④ take lessons in either Japanese or English

【訳】 SAMの生徒は全員 [38] なくてはならないと規則にある。

① 自宅学習のためにインターネットにアクセスでき  
 ② メンバーになるために初期費用を払わ  
 ③ 確認できる形式の個人IDを見せ  
 ④ 日本語か英語のどちらかでレッスンを受け

選択肢の研究

- ▶ ① インターネット環境の必要性は言及なく、不一致。
- ▶ ② L.16「生涯登録料金は「初期費用」と同義と判断できる。よって一致。
- ▶ ③ L.17「正式な身分証明書を持つ生徒は割引になる」とあるが、全員の提示義務について記述はなく、不一致。
- ▶ ④ L.19「追加料金によって、日本語と英語以外の言語でレッスンが受けられる」とある。不一致。

問3 条件に合わせた計算

A 35-year-old woman wants to take lessons at SAM for the first time. If she applies for 10 ukulele lessons and she doesn't have an official ID card, what is the least she will pay? [39]

① ¥9,500 ② ¥45,000 ③ ¥45,500 ④ ¥50,000

【訳】 35歳の女性がSAMで初めてレッスンを受けたいと思っている。もし彼女が10回分のウクレレのレッスンに申し込み、正式な身分証明書を持っていないければ、彼女が支払う最低額はいくらか。 [39]

- ▶ L.16～17「全生徒は生涯登録が必要。身分証があるか65歳以上なら5%割引」。この女性は初利用なので登録の必要があるが、割引の適用条件外のため5,000円。L.17～18「10回分を前金で支払うと1割引」より、10回分のウクレレ講座は4,500円×10×0.9=40,500円。以上より、支払う最低額は、5,000+40,500=45,500円。

問4 条件による情報の絞り込み

SAM guarantees that [40].

① each student has an opportunity to perform  
 ② every SAM concert is available to view online  
 ③ instructors respond to all student feedback posted  
 ④ students will be sent reference material by e-mail

【訳】 SAMは [40] ことを保証している。

① それぞれの生徒に演奏する機会がある  
 ② SAMの各コンサートはオンラインで見ることができる  
 ③ インストラクターたちはすべての生徒の投稿された意見に返事をする  
 ④ 生徒たちにはeメールで参考資料が送られる

選択肢の研究

- ▶ ① L.23「全生徒に、四半期ごとに演奏の機会がある」に一致。
- ▶ ② L.26「厳選された(selected)過去のコンサート」が見られるとある。「すべて」ではないので不一致。
- ▶ ③ 「生徒の意見の投稿先」はL.28に示されているが、その返事についての記述はない。不一致。
- ▶ ④ L.27より「参考資料」がオンラインで見られることがわかるが、メールで送るという記述はない。不一致。

【訳】 シンフォニー・アカデミー・オブ・ミュージック

音楽とは、誰もが楽しめるもの。楽譜の読み方、楽器の演奏の仕方、歌い方を学びましょう。

1954年に日本橋に設立されたSAMは、10万人以上の熟達した音楽家を輩出してきました。SAMは日本語、英語、フランス語、ドイツ語、そして中国語を話すインストラクターを擁する日本で唯一の音楽学校です。どんなレベルの生徒も歓迎します。

登録方法

www.samusic.co.jp/moshikomiでオンラインで登録するか、0120-xxx-xxxにお電話ください。

料金(税込み)

- ・生涯登録料 ¥5,000
- ・ピアノ ¥3,000 (1講座あたり)
- ・管楽器 ¥3,000 (1講座あたり)
- ・弦楽器 ¥3,000 (1講座あたり)
- ・打楽器 ¥3,500 (1講座あたり)
- ・発声 ¥4,000 (1講座あたり)
- ・特殊楽器(ウクレレ、パンジョーなど) ¥4,500 (1講座あたり)

生徒は全員、「生涯登録料金を払う必要があります。会員資格が失効することはありません。正式な身分証明書を持っている生徒と65歳以上の高齢者は5%の割引があります。レッスン10回分のクーポンブックに前金で支払われると、10%割引が適用されます。クーポンブックは受付で入手可能です。日本語と英語以外の言語でのレッスンには、追加料金が適用されます。

主要クレジットカード利用可能。

詳しい情報はこちらをご覧ください: www.samusic.co.jp/index

特別サービス

- ▶ 年4回の生徒によるリサイタル/コンサート。すべての生徒に、四半期ごとに演奏する機会があります。
- ▶ eメールでのオンラインセミナーへのご招待
- ▶ 新しいポッドキャストと教育ビデオは: www.samusic.co.jp/video
- ▶ 以前のポッドキャストと厳選された過去のコンサートは: www.samusic.co.jp/archives
- ▶ コード表と参考資料は: www.samusic.co.jp/ref
- ▶ 生徒の意見と最新ニュースは: www.blog.samusic.co.jp.

K・沼田 SAM代表取締役会長 M・成瀬 SAM常務取締役  
 E・村本 音楽指揮者、主任音楽コンサルタント



**選択肢の正誤を素早くスキャンする**

問1: 広告に書かれていることはどれか。

**【選択肢】**

▶ ㉑ 「外国語を話すインストラクターもいる」

**【広告】 3～4行目**

・「SAMは日本語、英語、フランス語、ドイツ語そして中国語を話すインストラクターを擁する…」

**設問文の条件で情報を絞り込む**

問2: SAMの生徒がしなければならないと規則に書かれているものは何か。

**【選択肢】**

▶ ㉒ 「メンバーになるために初期費用を払う」

**【広告】 16行目**

・「生徒は「生涯登録料金」を支払うことが要求される」

**設問文の条件に合わせた計算をする**

問3: SAMを初めて利用する35歳の女性が、10回分のウクレレ講座に身分証なしで申し込む場合、支払う最低額はいくらか。

**【選択肢】**

▶ ㉓ 「45,500円」

**【広告】 8行目、14～18行目**

・「割引なし登録料=5,000円」  
 ・「ウクレレ講座10回分の10%割引=40,500円」  
 ・5,000+40,500=45,500円

**設問文の条件で情報を絞り込む**

問4: SAMが保証していることは何か。

**【選択肢】**

▶ ㉔ 「それぞれの生徒に演奏する機会がある」

**【広告】 23行目**

・「すべての生徒は、四半期ごとに演奏する機会を得る」

# Symphony Academy of Music

Music is something everyone can enjoy. Learn to read music, play an instrument or sing.

Established in Nihonbashi in 1954, SAM has trained more than 100,000 accomplished musicians. SAM is the only music school in Japan with Japanese, English, French, German and Chinese-speaking instructors. Students of any level are welcome.

## How to Register

Go online to register at [www.samusic.co.jp/moshikomi](http://www.samusic.co.jp/moshikomi) or call 0120-xxx-xxx

## Rates (tax included)

問3	• Lifetime Registration Fee	¥5,000
	• Piano	¥3,000 per session
	• Wind instruments	¥3,000 per session
	• String instruments	¥3,000 per session
	• Percussion	¥3,500 per session
	• Voice	¥4,000 per session
	• Specialty instruments (ukulele, banjo, etc.)	¥4,500 per session

問2

All students are required to pay the “Lifetime Registration Fee.” Membership never expires. Students with official ID cards and seniors age 65+ receive a 5% discount. A 10% discount will apply when coupon books for ten lessons are paid for in advance. Coupon books are available at the front desk. Extra fees apply to lessons in languages other than Japanese or English.

All major credit cards accepted.

For further details confer: [www.samusic.co.jp/index](http://www.samusic.co.jp/index)

## Special Services

- 問4
- ▶ Quarterly student recitals/concerts. Every student gets a chance to perform, every quarter.
  - ▶ Invitations to webinars by e-mail
  - ▶ New podcasts and instructional video at: [www.samusic.co.jp/video](http://www.samusic.co.jp/video)
  - ▶ Earlier podcasts and selected past concerts at: [www.samusic.co.jp/archives](http://www.samusic.co.jp/archives)
  - ▶ Chord charts and reference material at: [www.samusic.co.jp/ref](http://www.samusic.co.jp/ref)
  - ▶ Student feedback and recent news at: [www.blog.samusic.co.jp](http://www.blog.samusic.co.jp)

K. Numata, Chairman, SAM

M. Naruse, Executive Director, SAM

E. Muramoto, Musical Conductor and Chief Musical Consultant

**語句・表現**

- 問1 ㉑ discount 「割引、値引き」  
 問1 ㉒ instructor 「インストラクター、講師」  
 問2 state 「述べる」  
 問2 ㉓ access 「(ネットワークへの)アクセス」  
 問2 ㉔ initial 「最初の、初期の」  
 問2 ㉕ recognized 「認められている」  
 問2 ㉖ identification 「身分証明書」  
 問3 apply for ～ 「～に申し込む」  
 問4 guarantee 「保証する」  
 問4 ㉗ opportunity 「機会」  
 問4 ㉘ available 「利用できる」  
 問4 ㉙ view 「見る、閲覧する」  
 問4 ㉚ respond to ～ 「～に回答する」  
 問4 ㉛ feedback 「意見、感想」  
 問4 ㉜ post 「投稿する」  
 問4 ㉝ reference 「参考文献」

- 1.0 symphony 「交響曲」  
 1.0 academy 「学園、専門学校」  
 1.1 instrument 「楽器、機器」  
 1.2 establish 「設立する」  
 1.2 accomplished 「熟達した、名人級の」  
 1.5 register 「登録する」  
 1.7 rate 「料金、価格」  
 1.7 tax included 「税込み」  
 1.8 lifetime 「生涯の、一生の」  
 1.8 registration 「登録」  
 1.8 fee 「料金」  
 1.10 wind instrument 「管楽器」  
 1.11 string instrument 「弦楽器」  
 1.12 percussion 「打楽器」  
 1.14 specialty 「専門、特殊」  
 1.16 membership 「会員資格」  
 1.16 expire 「有効期限が切れる、失効する」  
 1.18 apply 「適用される」  
 1.18 in advance 「前もって、前金で」  
 1.19 extra fee 「追加料金」  
 1.20 accept 「受け入れる」  
 1.21 further 「さらなる」  
 1.21 detail 「詳細」  
 1.21 confer 「参照する」  
 1.23 quarterly 「年4回の、3か月ごとの」  
 1.24 webinar 「ウェビナー(ウェブ+セミナー)、オンラインセミナー」  
 1.25 podcast 「ポッドキャスト(インターネットラジオ・映像配信)」  
 1.25 instructional 「教育の」  
 1.27 chord chart 「コード表」  
 1.29 chairman 「会長、社長」  
 1.30 executive director 「常務取締役」  
 1.31 conductor 「指揮者」

## 段落要旨

1 “No way is that a police dog!” “That dog is too small, and too cute, to be a police  
dog!” These are the kinds of comments people make when they meet Peaches. Peaches  
is a toy poodle. She’s two years old and weighs under four pounds. Although Peaches  
is small and cute, she is a highly skilled search and rescue dog who is now working for  
5 the Japanese police.

2 I was deeply moved when I watched her at her police dog appointment ceremony. I  
recalled the day I met her for the first time. When my daughter Donna entered junior  
high school, I wanted to get her a dog. She said to me, “A dog? We already have lots  
of dogs here, don’t we?” I am an experienced police dog trainer, so ever since she was  
10 born, there have always been many dogs around the house. “Don’t get a big training  
dog, Dad. Get one that’s cute and small.”

3 Donna showed me a leaflet for an animal shelter asking people to adopt abandoned  
dogs. I knew that teenagers like Donna always wanted a pet, but once they got one, they  
tended to lose interest. They would get busy enjoying life at their new school and forget  
15 about the pet. “We can go to the shelter, but we’re just looking, OK?” I told her. “Taking  
care of a dog is very big responsibility. You need to be very careful.”

4 When we got to the shelter, there were so many dogs looking at us, wanting us to  
take them home. Most of the dogs would not be able to stay there much longer if they  
didn’t find a new family. Since I had sometimes visited the shelter for my job, it was a  
20 familiar sight for me. I was just about to encourage Donna to leave the shelter. But at  
that moment, a little dog attracted my attention. It was a small, skinny toy poodle. For  
some reason, I could not turn my eyes away from her. When I realized it, I told Donna  
I wanted to take her home. “Dad, are you serious?” she replied excitedly. “That’s the  
one that I really want, too!” She named her Peaches after one of her favorite trees in  
25 the garden.

【訳】 1 「絶対にあれは警察犬ではない！」 2 「あの犬は警察犬になるには小さすぎるし、かわいすぎる！」 3 これらは、人々がピーチズに会うと口にする類（たぐい）のコメントである。4 ピーチズはトイプードルである。5 彼女は2歳で、体重は4ポンドより少ない。6 ピーチズは小さくてかわいいが、現在日本の警察で働く、高い技術を持った捜索救助犬である。

2 1 私は、警察犬任命式で彼女を見たとき、深く感動した。2 私は、彼女と初めて会った日のことを思い出した。3 娘のドナが中学に入学したとき、私は彼女に犬をあげたいと思った。4 彼女は私に言った。「犬？ 犬は、ここにもうたくさんいるでしょう？」 5 私は経験豊富な警察犬の訓練士だったので、彼女が生まれてから、家の周りにはいつもたくさんの犬がいた。7 「大きな訓練犬はもらってこないでね、パパ。8 かわいくて小さな犬をもらってね」

3 1 ドナは私に、捨て犬を引き取ることを人々をお願いしている動物保護施設の小冊子を見せた。2 私は、ドナのような10代の子どもはいつもペットを欲しがりますが、いったん手に入れると興味を失いがちになることを知っ

1 トイプードルのピーチズは、小さくてかわいいが、日本の警察で働く捜索救助犬である。

2 警察犬の訓練士である筆者は、娘のドナが中学に入学したとき、犬をあげたいと思った。家にはたくさんの犬がいたが、ドナは大型の訓練犬ではなく、かわいくて小さな犬を望んだ。

3 ドナが動物保護施設の小冊子を筆者に見せたが、筆者は、ドナのような年齢の子どもはすぐにペットの世話をしなくなることを知っていたので、ドナに犬の世話をすることの責任を説いた。

4 筆者とドナは、筆者にとっては見慣れた場所である、保護施設に行った。施設を出ようとしたときに、小さなトイプードルが筆者の目を引き、ドナもそれが気に入ったことがわかり、その犬を引き取ることにした。ドナは犬をピーチズと名付けた。

ていた。3 彼らは、新しい学校での生活を楽しむのに忙しくなり、ペットのことは忘れてしまう。4 「保護施設に行ってもいいけれど、見るだけだよ、いいね」と私は彼女に言った。5 「犬の世話をすることはとても大きな責任だよ。6 とても気をつけなければいけないだ」

4 1 私たちが保護施設に着いたとき、非常にたくさんの犬が私たちを見ていた。私たちに自分を家に連れて帰ってくれと望むようにして。2 その犬のほとんどは、新しい家族が見つからなければ、あまり長くはそこにとどまることはできないだろう。3 私は、仕事のために時々その保護施設に行っていたので、それは私には見慣れた光景だった。4 私はドナにその保護施設を出ようと、ちょっと促そうとしていた。5 しかし、その瞬間、小さな犬が私の注意を引いた。6 それは小さくて痩せこけたトイプードルだった。7 なぜか、私は彼女から目を離すことができなかった。8 私はそのことに気づいたとき、ドナに彼女を家に連れて帰りたいと言った。9 「パパ、本気なの？」と彼女は興奮して答えた。10 「あれは、私もぜひ欲しいと思っている犬なの」 11 ドナはその犬を、庭のお気に入りの木の1本にちなんでピーチズと名付けた。



正解へのプロセス

▶ センター試験の読解問題は、基本的に英文の流れの順に出題される。

(第1段落第6文)

「ピーチズは高い技術を持った捜索救助犬である」

(第2段落第1文)

「任命式でピーチズを見たとき深く感動した」

(第2段落第2文)

「ピーチズと初めて会った日のことを思い出した」

(第2段落第3文)

「娘が中学に入ったとき、彼女に犬をあげたいと思った」

▶ 以上より、かつて娘にあげた犬が成長した様子を見て深く感動したことが推測できるので、④が正解。

正解へのプロセス

▶ 筆者がドナに犬をあげることは、第2、3段落に描かれている。

(第3段落第2文)

「私は、子どもはペットをいっぴんに手に入れると興味を失いがちなることを知っていた」

(第3段落第3文)

「彼らは生活が忙しくなり、ペットのことを忘れてしまう」

(第3段落第5文)

「犬の世話をすることは大きな責任だよ、と私はドナに言った」

▶ 以上より、④が正解。

正解へのプロセス

▶ 筆者とドナが犬を連れて帰る場面は第4段落に描かれている。

(第4段落第5文)

「小さな犬が私の注意を引いた」

(第4段落第7文)

「なぜか、私は彼女から目を離すことができなかった」

(第4段落第8文)

「私はドナにその犬を連れて帰りたいと言った」

(第4段落第10文)

「その犬は私もぜひ欲しいと思っていて、ドナは言った」

▶ 以上より、④が正解。

問1

問1 At the beginning of the story, the writer 41.

- ① was adopting a small dog at a ceremony
- ② was asking his daughter to release Peaches
- ③ was concerned that Peaches was too small
- ④ was delighted by how much Peaches had grown

**訳** 物語の最初のところで、筆者は 41。

- ① ある式典で小さな犬を引き取っていた
- ② 娘にピーチズを手放すように頼んでいた
- ③ ピーチズが小さすぎることを心配していた
- ④ ピーチズがどれほど成長したかを喜んでいた

**解説** ①「式典」が第2段落第1文にある警察犬任命式を指すとしても、そこで「小さな犬を引き取っていた」という記述はないので、不適。

② ピーチズを手放すことに関する記述はないので、不適。

③ 第1段落第1～3文から、心配していたのは筆者ではなく、警察犬としてのピーチズを見た人々なので、不適。

④ 第2段落第1文の「警察犬の任命式典でピーチズを見て深く感動した」から推測できることなので、これが正解。

問2

問2 The writer wanted to give Donna a dog, but he 42.

- ① did not know how to raise a small dog
- ② had no idea how and where to get the dog
- ③ was afraid that the police would not permit it
- ④ worried about her responsibility for a dog

**訳** 筆者はドナに犬をあげたいと思ったが、彼は 42。

- ① 小さな犬の育て方を知らなかった
- ② どうやって、またどこでその犬を手に入れるのかを知らなかった
- ③ 警察が許可しないかもしれないことを心配していた
- ④ 犬に対する彼女の責任について心配していた

**解説** ①「筆者が小さな犬の育て方を知らなかった」という記述はないので、不適。

② 第4段落第3文に「保護施設は見慣れた場所だった」とあるので、不適。

③ ドナに犬をあげることに對する警察の反応は記述がない。よって不適。

④ 第3段落第2～6文の内容に一致するので、これが正解。

問3

問3 The writer and Donna took a small dog home because 43.

- ① he convinced her to do so
- ② she made a promise to take care of the dog
- ③ the dog had the same name as her favorite tree
- ④ they were both fascinated by the dog

**訳** 筆者とドナが小さな犬を家に連れて帰ったのは 43 からだった。

- ① 彼が彼女にそうするように納得させた
- ② 彼女がその犬の世話をすることを約束した
- ③ その犬が、彼女のお気に入りの木と同じ名前だった
- ④ 2人ともその犬に魅了された

**解説** ① 第4段落第9、10文に、ドナもその犬が欲しいと言って興奮している様子が描かれているので、「筆者が納得させた」は不適。

② ドナが「犬の世話を約束した」という記述はないので、不適。

③ 第4段落第11文の「お気に入りの木の名前にちなんでピーチズと名付けた」のは、家に犬を連れて帰った後のことなので、不適。

④ 第4段落第7～10文の内容に一致するので、これが正解。

5 Even three months after Peaches came home with us, Donna still took very good care of her. One day she told me, “Dad, come and look at what Peaches can do.” Donna had trained the dog to find a pair of her mother’s earrings that she had hidden. “Wow! When did you start teaching her?” I asked Donna, fascinated. “About two months ago,” she said. “Peaches had so much fun learning. You know what? I think we should train her to be a police dog. But I’ll let you do the rest, Dad.”

6 Peaches got along really well with bigger dogs, so I decided to mix her in with their program. I immediately noticed that she had an amazing memory. There were things she could do even better than the bigger dogs. At first I was a little unsure about Donna’s idea, but I have come to agree with her. In fact, Peaches was the most enthusiastic student of them all.

7 The morning Peaches began her work, I apologized to Donna. “I thought you’d get tired of taking care of Peaches after a month or so,” I told her. “I’m sorry I doubted you.” “Do you think better of me than you did before?” she asked. “Actually I started to get a little tired of it after a month. But Peaches really enjoyed her training, so I kept it up.” Then I asked Donna, “So, do you want another pet?” “Um, that’s a difficult question...” she answered, and was silent for a while. “I’m not sure if I can handle another one,” she finally said. “But if I do get one, I want a dog that’s cute and small!”

段落要旨

5 ドナは3か月過ぎてモピーチズの世話を続け、訓練までしていた。その覚えのよさから、ピーチズを警察犬にすべきだと、ドナは筆者に言った。その後の訓練を筆者が引き継いだ。

6 ピーチズは驚くべき記憶力を示した。筆者は、ドナの考えに同調するようになった。

7 ピーチズの初仕事の日、筆者はドナに、彼女が犬の世話に飽きるだろうと思っていたことを謝った。ドナは、またベットを飼うならかわいくて小さな犬がいいと言った。

訳

5 ① ピーチズが私たちと一緒に家に来たら3か月たっても、ドナは彼女の世話をとてもよくした。②ある日、彼女は私に言った。「パパ、来て、ピーチズができることを見て」③ドナはその犬を、ドナが隠した母親のイヤリング見つけ出せるように訓練していたのだ。④「わあ！⑤いつ彼女に教え始めたんだい？」と私は興味をそそられてドナに尋ねた。⑥「2か月くらい前よ」と彼女は言った。⑦「ピーチズは覚えるのをとても楽しんだのよ。⑧あの子ね。⑨私、彼女を警察犬になるように訓練するべきだと思うの。⑩でも、あの子はパパにやらせてあげる」

6 ① ピーチズは、彼女より大きな犬たちともとても仲良くやっていけたので、私は大きな犬のためのプログラムに彼女を加えることにした。②私はすぐに、彼女には驚くべき記憶力があることに気づいた。③彼女の方が大きな犬よりもずっと上手にできることもあった。④最初

は、私はドナの考えに少し確信が持てなかったが、彼女に賛成するようになった。⑤実は、ピーチズはすべての犬の中で一番熱心な生徒だったのだ。

7 ① ピーチズが初めて仕事をする朝、私はドナに謝った。②「おまえが1か月くらいでピーチズの世話をするのに飽きるだろうと思っていたよ」と私は彼女に言った。③「おまえのことを疑ってごめん」④「私のこと、前より見直した？」と彼女は聞いた。⑤「実はね、1か月たつて、ちょっと飽き始めてきたの。⑥でも、ピーチズは本当に訓練を楽しんでいたから、私も続けたの」⑦それから、私はドナに聞いた。「じゃあ、もう1匹ベットが欲しいかい？」⑧「うーん。それは難しい質問…」と彼女は答え、しばらく黙っていた。⑨「もう1匹扱えるかどうかかわからない」と彼女はようやく言った。⑩「でも、本当にベットが手に入るなら、かわいくて小さな犬が欲しい！」

語句・表

1.1 no way 「絶対に～でない」	1.7 recall 「思い出す」	1.16 responsibility 「責任」
1.2 make comments 「意見を述べる、コメントする」	1.7 enter 「入学する」	1.20 familiar 「なじみのある」
1.3 toy poodle 「トイプードル」	1.9 experienced 「経験豊富な」	1.20 sight 「光景」
1.3 weigh 「重さが～である」	1.9 police dog trainer 「警察犬訓練士」	1.20 encourage A to do 「Aに～するように促す、仕向ける」
1.4 skilled 「熟練した、技術のある」	1.12 leaflet 「小冊子」	1.21 attract 「引きつける」
1.4 search and rescue dog 「捜索救助犬、災害救助犬」	1.12 animal shelter 「動物保護施設」	1.21 attention 「注意」
1.6 move 「心を動かす、感動させる」	1.12 adopt 「引き取る、養子にする」	1.21 skinny 「痩せこけた」
1.6 appointment 「任命」	1.12 abandoned 「捨てられた」	1.22 realize 「理解する、自覚する」
1.6 ceremony 「式、式典」	1.14 tend to do 「～しがちである」	1.23 serious 「まじめな」
	1.15 take care of ～ 「～の世話をする」	1.23 reply 「答える」

正解へのプロセス

▶ ピーチズが訓練を受けていることは、第5、6段落に描かれている。

(第5段落第4文)

「いつピーチズの訓練を始めたんだい、と私はドナに聞いた」

(第5段落第9文)

「ピーチズは警察犬になるべきだと思う、とドナは言った」

(第6段落第2、3文)

「私は、ピーチズには優れた記憶力や、大型犬よりも上手にできることがあると気づいた」

(第6段落第4文)

「私はドナの考えに賛成するようになった」

▶ 私が賛成した「ドナの考え」は「ピーチズは警察犬になるべきだ」というドナの意見である。よって②が正解。

正解へのプロセス

▶ 筆者によるドナへの質問は、最終段落に描かれている。

(最終段落第7文)

「もう1匹ペットが欲しいかい?とドナに尋ねた」

(最終段落第8文)

「それは難しい質問…とドナは答えた」

(最終段落第9文)

「もう1匹扱えるかどうかかわらない、とドナは言った」

▶ 以上から、②が正解。

問4

問4 After the writer started to train Peaches, he 44.

- ① realized that Donna should have trained Peaches
- ② thought Peaches should be a police dog
- ③ wanted to know how Donna taught Peaches
- ④ was glad he had asked Donna to teach her

**訳** 筆者がピーチズの訓練を始めた後、彼は 44。

- ① ドナがピーチズの訓練をするべきだったということに気づいた
- ② ピーチズは警察犬になるべきだと思った
- ③ ドナがどのようにピーチズに教えるのかを知りたかった
- ④ 彼がドナに、ピーチズに教えるよう頼んだことを喜んだ

**解説** ① 第5段落にドナがピーチズを訓練したことが書かれているが、筆者が訓練を始めてから「ドナが訓練をすべきだった」と後悔しているような記述はないので、不適。  
 ② 第6段落第4文に、筆者が「ドナの考えに賛成するようになった」とある。ドナの考えは、第5段落第9文の「ピーチズを警察犬になるよう訓練すべき」なので、これが正解。  
 ③ 筆者が「ドナの訓練の方法を知りたかった」という記述は本文にないので、不適。  
 ④ 第5段落にドナが自分でピーチズの訓練をしたとはあるが、筆者がピーチズの訓練を始めた後「ドナに、ピーチズを教えるよう頼んだ」という記述はないので、不適。

問5

問5 What was Donna thinking when the writer asked her the question at the end? 45

- ① Whether or not Peaches should be a police dog.
- ② Whether or not she could continue taking care of a pet.
- ③ Whether or not she should let her father choose a pet.
- ④ Whether or not to accept the writer's apology.

**訳** 最後のところで、筆者がドナに質問したとき、彼女は何を考えていたか。 45

- ① ピーチズが警察犬になるべきかどうか。
- ② 彼女がペットの世話をし続けることができるかどうか。
- ③ 彼女が父にペットを選ばせるべきかどうか。
- ④ 筆者の謝罪を受け入れるべきかどうか。

**解説** ① この段階で、ピーチズはすでに警察犬になっているので、不適。  
 ② 最終段落第9文に「もう1匹扱えるかどうかかわらない」とあるので、これが正解。  
 ③ 最終段落第10文で、ドナは新たなペットを持つことについて自分の希望を述べているので、不適。  
 ④ 最終段落第4文から、筆者の謝罪を受け入れたことがわかるので、不適。

1.24 name A B after ~ 「~にちなんでAをBと名付ける」	1.32 mix ~ in with ... 「~を…と一緒にする」	1.40 keep ~ up 「~を続ける」
1.24 favorite 「大好きな、お気に入りの」	1.33 immediately 「すぐに」	1.42 silent 「沈黙した」
1.28 train 「訓練する」	1.33 amazing 「驚くべき」	1.42 handle 「扱う」
1.28 earring 「イヤリング」	1.33 memory 「記憶力」	問1① concerned 「心配して」
1.28 hide 「隠す」	1.34 be unsure about ~ 「~について確信が持てない」	問1④ delighted 「喜んで」
1.29 fascinate 「魅了する、引きつける」	1.35 agree with ~ 「~に同意する、賛成する」	問2① raise 「育てる」
1.30 have fun doing 「~するのを楽しむ」	1.35 enthusiastic 「熱心な」	問2② permit 「許可する」
1.30 You know what? 「あのね」	1.37 apologize to ~ 「~に謝罪する」	問3① convince 「納得させる、説得する」
1.31 the rest 「残り」	1.37 get tired of ~ 「~に飽きる」	問3③ fascinated 「魅了された、引きつけられた」
1.32 get along well with ~ 「~と仲良くやっていく」	1.38 doubt 「疑う」	問5④ apology 「謝罪」
	1.39 think better of ~ 「~を見直す、より高く評価する」	
	1.39 actually 「実は、本当のところは」	

段落展開

(1)

話題 「カエルなどの両生類について」

主旨 「両生類の冬眠のメカニズムは潜在的に価値のある医学的情報をもたらす」

冬眠に関する一部のカエルの例  
・ 生きている組織が凍り、暖まると再び機能するというカエルのメカニズム

(2)

話題 「アメリカカガエルについて」

主旨 「冬の間のアメリカカガエルは機能停止状態にある」

より具体的な例

・ 水分の60%以上が凍結  
・ 体温は-1℃から-6℃の間まで下がる

- (1) Frogs are part of a large animal group known as amphibians. There are over 4,000 species of amphibians, animals at home both on land and in water. Frogs hibernate — sleep, through the winter. When the outside temperature drops, the body temperature of frogs goes down and all body processes slow down. Certain frog species in extremely cold places can actually “freeze” for the winter and then thaw. This mechanism, in which living organisms freeze and then warm up and become operational again, offers potentially valuable medical information.
- (2) One frog that freezes is the wood frog found in Alaska. During winter, over 60% of the water content of their body freezes. Their hearts stop, as does their breathing. They appear dead, but, in actuality, they are just in an altered state. Their body temperature goes down to between -1°C and -6°C. The average January temperature in parts of Alaska where these frogs are found is -17°C. Often, it gets even colder. The frogs bury themselves in mud and various plant life because this and fallen snow keep the ground temperature a bit warmer so they can survive.

訳

1 カエルは両生類として知られる大きな動物のグループの一部である。2 陸上と水中の両方を生息地とする動物である両生類は、4,000種以上いる。3 カエルは冬眠する—すなわち冬の間中眠る。4 外気が下がると、カエルの体温は下がり、すべての身体作用が遅くなる。5 極めて寒い場所にいる、あるカエルの種は、冬に備えて実際に「凍結」し、そして解凍できる。6 このメカニズム、つまり、生きている組織が凍り、そして暖まって再び機能する作用は、潜在的に価値のある医学的情報をもたらす。

2 凍結するカエルの一種にアラスカで見られるアメリカカガエルがある。2 冬の間、彼らの体内の水分含有量の60%以上が凍結する。3 心臓は呼吸と同じように停止する。4 彼らは死んだように見えるが、実際には変化した状態にあるだけなのだ。5 彼らの体温はセ氏マイナス1度からマイナス6度の間まで下がる。6 これらのカエルが見られるアラスカの地域の1月の平均気温はセ氏マイナス17度だ。7 気温がさらに下がることさえしばしばだ。8 カエルたちは泥とさまざまな植物の中に身をうずめる。なぜなら、こうすることと積もった雪によって、彼らが生き延びることができるよう、地面の温度がわずかに暖かく保たれるからだ。

語句・表現

1.1 amphibian 「両生類」  
1.2 species 「種」  
1.2 at home 「本拠地で、在宅して」  
1.3 hibernate 「冬眠する」  
1.3 temperature 「温度、気温」  
1.4 slow down 「速度が落ちる」  
1.5 extremely 「極端に」  
1.5 freeze 「凍る」  
1.5 thaw 「解ける、解凍する」  
1.6 mechanism 「メカニズム、作用」  
1.6 organism 「組織」

1.7 operational 「使用可能な」  
1.7 potentially 「潜在的に」  
1.7 valuable 「価値のある、貴重な」  
1.7 medical 「医学の、医療の」  
1.8 wood frog 「アメリカカガエル」  
1.9 as does their breathing = as their breathing stops (their breathing を主語とする倒置の文)  
1.9 breathing 「呼吸」  
1.10 in actuality 「現実に、實際上」  
1.10 altered state 「変化した状態」

1.11 average 「平均的な」  
1.13 bury 「～を埋める」  
1.13 mud 「泥」  
1.13 plant life 「植物生命体」  
1.13 fallen snow 「落ちた(積もった)雪」 ※「落ちている(降っている)雪」は falling snow  
1.14 survive 「生存する」  
1.14 so (that) ～ 「～するように」

文脈から単語の意味を推測する問題

下線部の単語を前後の文脈の内容から推測する。

▶ thawは難語だが、前後の文脈から意味を推測することができる。

▶ 該当の文だけでは選択肢を絞り込めないで、前後の文の内容を確認する。

第4文「外気が下がるとカエルの体温は下がり、身体作用が遅くなる」

第5文「極めて寒い場所にいるあるカエルの種は、冬に備えて実際に「凍結」し、そして [46] できる」

第6文「このメカニズム、つまり、生きている組織が凍り、そして暖まって再び機能する作用は、…」

▶ 第6文の This mechanism が第5文の内容を指していることがわかる。よって下線部は第6文の「暖まって（再び機能する）」といった意味になると推測できるので、正解は④。

段落の複数要素を吟味する問題

本文の内容と「一致しない」内容の選択肢を選ぶ。

▶ アメリカアカガエルの体温は第5文より「セ氏マイナス1度からマイナス6度の間まで下がる」とある。アラスカの1月の気温は第6～7文より「マイナス17度、しばしばさらに下がる」とある。よって、アメリカアカガエルの体温とアラスカの1月の気温は一致しない。

第2文「水分の60%以上が凍結する」  
→①「半分以上が凍結する」に一致。

第4文「死んだように見えるが、実際は変化した状態」  
→④「生きていても、もう生きていないように見える」に一致。

第8文「泥と植物の中に身をうずめる」  
→③「泥と植物で身を包む」に一致。

したがって、本文と一致しない②が正解。

問1

問1 The word thaw in Paragraph (1) is closest in meaning to [46].

- ① decrease in function
- ② dry out their bodies
- ③ enter a deep freeze
- ④ increase in body temperature

【訳】 第1段落の thaw という単語は意味の上で [46] に最も近い。

- ① 機能が低下する
- ② 彼らの身体が干上がる
- ③ 極度の低温状態になる
- ④ 体温が上昇する

解説/選択肢の研究

- ① 第6文で「再び機能する」と述べられているので、不適。
- ② 第6文では「暖まって再び機能する」とだけ述べられており、暖まった後に「身体が干上がる」とは述べられていないので、不適。
- ③ 第6文で「暖まって」と述べられているので、不適。
- ④ 第6文の「暖まって（再び機能する）」に一番近いので、正解。

【語句】 dry out 「干上がる」 body temperature 「体温」

問2

第2段落

問2 In Paragraph (2) which of the following is NOT mentioned as a characteristic of wood frogs? [47]

- ① More than half of the water in their bodies becomes frozen.
- ② Their body temperatures match the Alaskan January temperature.
- ③ They cover themselves in mud and plants.
- ④ They look like they are no longer alive, even though they are.

【訳】 第2段落で、アメリカアカガエルの特徴として述べられていないものはどれか。

- ① 彼らの体内にある水分の半分以上が凍結する。 [47]
- ② 彼らの体温は、アラスカの1月の気温と一致する。
- ③ 彼らは泥と植物で身を包む。
- ④ 彼らは生きていても、もう生きていないように見える。

解説/選択肢の研究

- ① 第2文で「体内の水分の60%以上が凍る」と述べられているので一致。
- ② 第5、6文に不一致。したがって、これが正解となる。
- ③ 第8文「カエルは泥と植物の中に身をうずめる」と述べられているので一致。
- ④ 第4文で「死んでいるように見えるがそうではない」と述べられているので一致。

【語句】 match 「～と一致する」 cover oneself 「身を包む」  
no longer ～ 「もはや～ない」 alive 「生きている」

【挿入句】

1.6 This mechanism, [in which living organism freeze and then warm up and become operational again,] offers potentially valuable medical information.

- ▶ 読解時には、挿入句をいったん括弧などでくくって、文全体の大きな構造と意味を把握することが大切。
- ▶ [ ] 内は挿入句で、This mechanism に具体的な説明を加えている。ここでの in which は mechanism という構造・仕組みを修飾するもので、(the way) in which = how に置き換えることができる。直訳すると、「そのメカニズム、つまり、どのように生きている組織が凍り、そして暖まって再び機能するかは…」ということ。

段落展開

(3)

話題「凍結後、元の状態に戻るということ」

主旨「アイデアとしては歴史があり、ほとんどの食品では試されてきたが、人間では実現されていない」

- ・ 考え得るほとんどすべての食品が凍結され、戻されている
- ・ 病気の人が凍結されて生き返らせられるSF的なアイデアは、実現に至っていない
- ・ 凍結終了後に大切なのは、元の状態が健康であること

(4)

話題「アメリカアカガエルの凍結」

主旨「凍結から細胞を守る物質が放出されている」

- ・ 細胞を取り囲む水分は氷になる
- ・ 大量の糖分が血中に放出される
- ・ 凍結防止剤が作り出され、細胞の破壊を防止するタンパク質が血中に放出される

(5)

話題「春を迎えたアメリカアカガエル」

主旨「活動再開の過程」

- ・ 内から外へと解け始める
- ・ 体温上昇が数時間にわたって起こる
- ・ 池に早く卵を産むことに種の生存がかかっている

- 15 (3) People have long been fascinated with the idea of something freezing and then returning to normal. For the past half century, almost every food imaginable has been frozen and brought back to its original state, more or less. However, the science fiction idea of people with diseases being frozen and then brought back to life when a cure is found has yet to be realized. The key here is “original state.” No frog has died of illness or natural causes and then come back to life, but rather has started out healthy at the time of its frozen state and come back to life after the freeze ends.
- (4) When the wood frog hibernates, the water that surrounds its cells turns to ice. At the first contact with ice, there is a stress reaction in the body. This sends an enormous amount of sugar into the bloodstream. It is as much as 4,500 milligrams per deciliter, which would kill a human being. In conjunction with other substances in the frog’s cells, a kind of antifreeze is created. Also, certain proteins that prevent the frog’s cells from breaking are released into the blood.
- (5) When spring comes, the frog’s body reverses the process and it begins to defrost from the inside out. First, the brain and the heart warm up again. The warming process takes place over several hours. When the frog’s body temperature returns to normal, they just hop away as if they were never frozen. Wood frogs lay eggs in ponds that are formed from melted snow. Ponds sometimes dry up by summer, so the survival of their species depends on their laying eggs as soon as they recover from their frozen state.

訳

3 ① 人々は長い間、何か凍結して、その後元の状態に戻るという考えに魅了されてきた。② 過去半世紀の間、想像できる限りのほとんどすべての食品が凍結され、多かれ少なかれ元の状態に戻されてきた。③ しかしながら、病気の人が凍結され、治療法が見つかったときに生き返らせられるという、SF的なアイデアはまだ実現されていない。④ ここでの鍵は「元々の状態」である。⑤ 病気や自然の原因で死に、そして生き返ったカエルは1匹もいない。そうではなく、凍結状態のときには健康で始まり、凍結が終わった後で生き返るのである。

4 ① アメリカアカガエルが冬眠するとき、細胞を取り囲む水分は氷になる。② 最初に氷と接触するときには、体内にストレス反応がある。③ これによって大量の糖分

が血流に放出される。④ その量は1デシリットルあたり4,500ミリグラムにもなり、人間であれば死んでしまう量だ。⑤ カエルの細胞内の他の物質と連動して、一種の凍結防止剤が作り出される。⑥ また、カエルの細胞が壊れるのを防ぐ種のある種のタンパク質が血中に放出される。

5 ① 春が来ると、カエルの身体は逆の過程をたどり、内から外へと解け始める。② 最初に脳と心臓が再び暖まる。③ 体温上昇の過程は何時間にもわたって起こる。④ カエルの体温が正常に戻ると、まるで一度も凍ってなどいなかったように彼らはただ跳び去る。⑤ アメリカアカガエルは、解けた雪から形作られた池に産卵する。⑥ 池は夏までに乾いてしまうことがあるので、種の生存は、凍結状態から回復するやいなや卵を産むことにかかっている。

段落の話題を確認する問題

段落全体の話題を正しく言い換えているものを選ぶ。

▶ アメリカアカガエルの凍結の過程を整理する。

- 第1文 細胞を取り囲む水分が氷になる。  
 第3、4文 水分が凍る際、人間なら死んでしまうほどの高濃度の糖分が血中に放出される。  
 ↓ (しかし)  
 第5文 細胞内に凍結防止剤が作り出される。

▶ 第6文 細胞の破壊を防止するタンパク質が血中に放出される。

↓  
 アメリカアカガエルは死なずに凍結できる

▶ 第5、6文でカエルが死ぬことなく凍結する理由を述べているので、②が正解。

段落の複数要素を吟味する問題

本文の内容と一致する内容の選択肢を選ぶ。

▶ 第6文の後半「種の生存は、凍結状態から回復するやいなや卵を産むことにかかっている」について、

選択肢①の「冬が終わると」は本文の「凍結状態から回復すると」の言い換え。また、「直ちに卵を産む」は本文の「(回復)するやいなや卵を産む(ことにかかっている)」の言い換え。本文で「卵を産む」ことを断定してはいないが、文脈上「産んでいる」ことは明白。よって、正解。

- 第2文 最初に脳と心臓が機能する。  
 第3文 体温上昇には何時間にもわたって起こる。  
 第4文 体温が正常に戻るとすぐに跳ねていく。

語句・表現

- 1.15 fascinate 「～を魅了する」  
 1.16 imaginable 「想像できる」  
 1.17 science fiction 「空想科学小説」  
 1.18 disease 「病気」  
 1.18 (be) brought back to life 「生き返らせられる」  
 1.19 cure 「治療(法)」  
 1.19 have yet to do 「まだ～していない」  
 1.19 realize 「～を実現させる」  
 1.20 die of ～ 「～で死ぬ」  
 1.20 cause 「原因」  
 1.20 start out ～ 「～し始める」

問3

第4段落

問3 Paragraph (4) discusses [ 48 ].

- ① the amount of sugar in the bloodstream that will kill a frog
- ② the reasons the frog's body is able to freeze
- ③ the various reasons that the frog's cells sometimes break
- ④ the way the creation of antifreeze sometimes damages frogs

【訳】 第4段落では [ 48 ] が論じられている。

- ① カエルが死んでしまう血流中の糖分の量
- ② アメリカアカガエルの身体が凍結できる理由
- ③ アメリカアカガエルの細胞が時に壊れてしまうさまざまな理由
- ④ 凍結防止剤の生成が時にカエルにダメージを与える方法

解説/選択肢の研究

- ① 「カエルが」死んでしまう糖分の量については記述がない。不適。
- ② 「カエルが(死なずに)凍結できる理由」は、第5文「細胞内の凍結防止剤」、第6文「細胞の破壊を防止するタンパク質」によって説明される。よって、一致。
- ③ 第6文に「細胞の破壊を防止するタンパク質」について書かれているが、「破壊されること」自体やその理由については記述がない。不適。
- ④ 「凍結防止剤」自体やその生成がカエルにダメージを与えるとの記述はない。不適。

問4

第5段落

問4 According to paragraph (5), [ 49 ].

- ① after the winter, wood frogs immediately lay their eggs
- ② after their temperatures go up, frogs have trouble moving
- ③ heart function occurs at the end of the warming-up process
- ④ the process of warming up is actually a very quick one

【訳】 第5段落によると、 [ 49 ]。

- ① 冬が終わると、アメリカアカガエルは直ちに卵を産む
- ② 体温が上がった後、カエルは動くのに苦労する
- ③ 体温上昇過程の最後に心臓は機能し始める
- ④ 体温上昇過程は実際、非常に素早いものだ

解説/選択肢の研究

- ① 第6文の後半の内容に一致。
- ② 第4文「体温が正常に戻ると、まるで一度も凍ってなどいなかったように、ただ跳び去る」とあるので、「動くのに苦労する」と一致しない。
- ③ 第2文に「最初に脳と心臓が再び暖まる」とあるので、「過程の最後に心臓は機能し始める」と一致しない。
- ④ 第3文に「何時間にもわたって起こる」とある。これがvery quick「非常に素早い」でないことは、over「～を超えて」の語から判断できる。不一致。

- 1.22 surround 「～を囲む、包囲する」  
 1.22 cell 「細胞」  
 1.23 contact 「接触」  
 1.23 stress reaction 「ストレス反応」  
 1.24 enormous 「莫大な、非常に大きい」  
 1.24 bloodstream 「血流」  
 1.25 deciliter 「デシリットル」  
 1.25 human being 「人間」  
 1.25 in conjunction with ～ 「～と連結 [連動] して」  
 1.25 substance 「物質」  
 1.26 antifreeze 「凍結防止剤」  
 1.26 protein 「タンパク質」  
 1.26 prevent ～ from ... 「～が…するのを防ぐ、妨げる」  
 1.27 release 「～を放つ、放出する」  
 1.28 reverse 「～を逆にする」  
 1.28 process 「過程」  
 1.28 defrost 「解ける」  
 1.29 from the inside out 「内側から」  
 1.31 hop away 「跳んでいく」  
 1.31 lay eggs 「産卵する」  
 1.32 melted snow 「解けた雪」  
 1.33 depend on ～ 「～次第である」  
 1.33 recover from ～ 「～から回復する」

段落展開

(6)

話題 「科学者がアメリカアカガエルから学ぶこと」

主旨 「臓器移植の場面で応用できる可能性がある」

- ・細胞を壊さずに凍結するカエルの能力を研究
- ・移植用臓器を凍結させられれば、短時間しか生きられない臓器を、しばらくたってから使うことができるようになるかもしれない

35 (6) Scientists have been learning a lot from the wood frog's winter behavior. Even if they can't yet bring higher animals back to life after freezing, there is much to learn from the frog that may be helpful in the medical world when handling organs for transplant. Currently, organs for transplant only remain viable for a short time after they are removed from the body. Various new technologies are now being researched that imitate the frog's ability to freeze without their cells breaking. Consequently, it is believed that studying the wood frog's freezing process is important. Perhaps in the future, it will be possible to freeze transplant organs completely and use them at a later time.

訳

6 ① 科学者たちはアメリカアカガエルの冬の行動から多くを学んでいる。② 彼らがまだ、より高度な動物を凍結後に生き返らせることができていないとしても、このカエルから学ぶべき、移植のために臓器を扱うときに医学界で役に立つかもしれないことは多い。③ 現在、移植のための臓器は、身体から取り出された後は短時間しか

生きていられない。④ 細胞が壊れることなく凍結するカエルの能力をまねた、さまざまな新しい技術が現在研究されている。⑤ 結果的に、アメリカアカガエルの凍結過程を研究することが重要だと考えられている。⑥ おそらく将来、移植用臓器を完全に凍結させて、しばらくたってから使用することが可能になるであろう。

語句・表現

- 1.35 behavior 「ふるまい、行動」
- 1.37 helpful 「役立つ、助けになる」
- 1.37 handle 「～を扱う」
- 1.37 organ 「臓器」

- 1.38 transplant 「移植」
- 1.38 currently 「現在、今日」
- 1.38 viable 「生存能力のある」
- 1.39 remove ~ from ... 「…から～を取り除く」

- 1.40 imitate 「～をまねる、模倣する」
- 1.40 consequently 「結果として」
- 1.42 at a later time 「しばらくたって」

【主語と動詞がわかりにくい文】

1.17 However, the science fiction idea of [people with diseases being frozen and then brought back to life when a cure is found] has yet to be realized.

- ▶ この文の主な構造は S(the science fiction idea) + V(has yet to be realized)。have yet to do は「まだこれから～しなければならない→まだ～していない」という意味で、have yet to を助動詞としてとらえてもよい。
- ▶ the science fiction idea と [people with diseases ...] とが同格の of で結ばれている。[ ] の中は、前置詞 of の目的語なので名詞句。
- ▶ being frozen and then brought ... が動名詞句で、people with diseases は動名詞の意味上の主語。「病気の人々が凍結され、それから生き返らせられるという SF 的なアイデア」。
- ▶ when a cure is found は (being) brought back to life を修飾している。

【関係代名詞と先行詞が離れている文】

1.39 Various new technologies are now being researched [that imitate the frog's ability (to freeze without their cells breaking)].

- ▶ 関係代名詞 that の先行詞は various new technologies。離れているが、これ以外に先行詞になる名詞はない。
- ▶ to freeze 以下の ( ) で括られた部分は ability を修飾する形容詞的用法の to 不定詞。
- ▶ 前置詞 without の目的語は動名詞の breaking だが、their cells はその意味上の主語となっている。よって、ability 以下は「彼らの細胞が壊れることなしに凍結する能力」という意味になる。



文章全体のテーマをとらえる問題

結論部や冒頭部などから、文章全体のテーマを導き出す

▶ 結論部に注目

Consequently「結果として」から始まる結論は「アメリカアカガエルの凍結過程を研究することが大切(第5文)」ということで、具体的な凍結方法は第2、4、5段落で示されている。理由は、結論に続く「将来、移植用臓器を完全に凍結させて、しばらくたってからでも使えるようになるかもしれない(第6文)」から。

▶ 冒頭部に注目

第1段落第6文「このメカニズム(=凍結→解凍・再機能)は潜在的に価値のある医学的情報をもたらす」の具体的な内容が、第6段落での前半で述べられた臓器移植の新たな可能性である。これは選択肢④の「アメリカアカガエルの凍結が教えてくれること」と同義と判断できる。

以上より、④がテーマとして正解と判断できる。

段落の話題と展開を確認する問題

▶ (1)~(5)の各段落第1文のトピックセンテンス(段落の内容を端的に表す文)と選択肢を確認する。

- (1)「カエルは両生類の一種だ」  
→ ②「カエルなどの両生類の背景」
- (2)「凍結するカエルの一種がアメリカアカガエルだ」  
→ ⑤「アメリカアカガエルの冬の習性」
- (3)「人々は何かが凍結し、後に元の状態に戻るということに魅了されてきた」  
→ ①「ものを凍らせてまた戻すことへの人々の関心」
- (4)「アメリカアカガエルが冬眠すると、細胞のまわりの水が氷になる」  
→ ③「凍結しているアメリカアカガエルの生体の化学反応」
- (5)「春が来るとカエルの身体は逆の過程をたどる」  
→ ④「体温上昇の過程と春の儀式」

<トピックセンテンス>

▶ 一般的な論説文の各段落には、その段落の内容を端的に表す文(トピックセンテンス)があり、それを読むだけでも英文全体の概要を理解できる。英文を読むときには、「段落で最も重要な文はどれか」を意識するようにしよう。トピックセンテンスは段落の最初か最後にあることが多く、この英文では全ての段落の最初に置かれている。

問5

問5 The theme of the passage is about [ 50 ].

- ① a method of freezing and reviving sick people
- ② the large numbers of wood frogs that gather in Alaska
- ③ the relationship between wood frogs and plant life
- ④ the way wood frogs freeze and what lessons it teaches

【訳】 この文章のテーマは [ 50 ] についてである。

- ① 病気の人を凍結させ、再生させる方法
- ② アラスカに集まる多数のアメリカアカガエル
- ③ アメリカアカガエルと植物との関係
- ④ アメリカアカガエルが凍結する方法と、それが教えてくれること

【解説/選択肢の研究】

- ①「病気の人を凍結し、治療法が見つかったときに生き返らせるアイデア」は第3段落第3文に出てくるが、SF的で実現されていないとある。従って、不適。
- ②「アメリカアカガエルがアラスカで見られる」ことは第2段落第1文で言及されているが、「多数が集まる」との記述はなく、文章全体のテーマでもない。不適。
- ③「アメリカアカガエルの植物との関係」については、第2段落第8文で「冬眠場所」として述べられているだけ。文章全体のテーマとも言えず、不適。
- ④「アメリカアカガエルが凍結する方法」は、第2、第4、第5の3つの段落で具体的に示されている。また、「それが教えてくれること」は第1段落の「潜在的に価値のある医学的情報」だが、「臓器移植の新たな可能性」として第6段落でも具体的に説明されている。いずれも文章全体のテーマと考えられ、一致。

B

問6

Paragraph	Content
(1)	[ 51 ]
(2)	[ 52 ]
(3)	[ 53 ]
(4)	[ 54 ]
(5)	[ 55 ]
(6)	Conclusion

- ① People's interest in freezing and reconstituting things
- ② The background of amphibians such as frogs
- ③ The body chemistry of wood frogs freezing
- ④ The warming process and spring rituals
- ⑤ The winter habits of wood frogs

【訳】

- (6) 結論
- ① ものを凍らせてまた戻すことへの人々の関心
- ② カエルなどの両生類の背景
- ③ 凍結しているアメリカアカガエルの生体の化学反応
- ④ 体温上昇の過程と春の儀式
- ⑤ アメリカアカガエルの冬の習性

【解説/選択肢の研究】

左を参照。

【語句】 content「内容」 conclusion「結論」 reconstitute「再構成する」  
chemistry「化学反応」 habit「習性」

## 【別冊】復習ナビブック問題 解答

★ 解答の後のカッコは英文素材の出典箇所、⇒は文法項目のナビブック参照ページを示しています。

1

1. ④ (第4問 B- 問2 選択肢④) ⇒ p.36 1
2. ② (第4問 B-2 行目) ⇒ p.24 5
3. ④ (第4問 B-17 行目) ⇒ p.22 2
4. ④ (第6問 - 第5段落第3文)
5. ③ (第6問 - 第5段落第4文) ⇒ p.32 6
6. ② (第6問 - 第6段落第4文) ⇒ p.28 1
7. ③ (第6問 - 第5段落第5文) ⇒ p.20 5

2

1. (Perhaps in the future,) it will be possible to freeze transplant organs (completely and use them at a later time.) (第6問 - 第6段落最終文) ⇒ p.26 6
2. (The average January temperature) in parts of Alaska where these frogs are found is (-17°C.) (第6問 - 第2段落第6文) ⇒ p.34 5
3. (Certain proteins) that prevent the frog's cells from breaking are (released into the blood.) (第6問 - 第4段落最終文)

3

② (英文の訳は第6問 - 第3段落参照)

【選択肢訳】

- ① 「(病気や自然の原因で死に、そして) 眠りに落ちた (カエルはいない)」
- ③ 「(病気や自然の原因で死に、そして) 凍結した (カエルはいない)」
- ④ 「(病気や自然の原因で死に、そして) 病気が治った (カエルはいない)」

4

③ (英文の訳は第6問 - 第1段落参照)

【選択肢訳】

- ① 「両生類は陸上でなく水中で生活する」
- ② 「カエルが冬眠すると、夏の日中により長く眠る」
- ③ 「冬の間、凍結して体の機能を停止するカエルもいる」
- ④ 「カエルが凍結し解凍するメカニズムを研究することで、寒い冬をより上手に過ごすことを学べるだろう」